

国際ロータリー第2840地区 2016-2017 年度



ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RID2840 / GUNMA JAPAN / 2016-2017

To Rotary club presidents and secretaries

THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD



ROTARY
SERVING
HUMANITY

「基本的教育と識字率向上」「ロータリーの友」月間

2016.9.1
Vol.3



目次

平成 28 年 9 月号

ガバナーメッセージ	1
ロータリーの友月間に寄せて	2
インターアクト年次大会報告	3
青少年交換長期派遣学生壮行会報告	4
ハイライトよねやま 196	5
地区ガバナー候補者の推薦についてのお願い	7
新会員紹介	8
訃報	10
文庫通信	11
出席報告	12
ガバナー事務所よりお願い	13

お知らせ

2016-17 年度 地区補助金申請用 (2017-2018 年度実施) データ他、各種地区財団データを 2840 地区ガバナーホームページに掲載しました。

ガバナーメッセージ

「基本的教育と識字率向上」「ロータリーの友」月間によせて

国際ロータリー第 2840 地区 2016-2017 年度 ガバナー 豊川 一男

親愛なる、ロータリアンの皆様、9 月は、「基本的教育と識字率向上」と「ロータリーの友」（日本のみ）特別月間です。

「基本的教育と識字率向上」は、国際ロータリーのロータリー財団重点分野の一つです。基本的教育とは、日常生活に必要な「読み・書き・計算」の基本的学習と理解しています。

我々、日本人庶民就学の根源は空海の「総芸種智院」理念で、身分にかかわらず向学心があれば「誰でも入学できる学校」開校（天長 5 年（829 年）～承和 12 年（845 年））は庶民の就学の機会の始まりです。既に平安時代には基本的教育の考え方を持っていました。

その後、時代は変わりますが、江戸時代の寺子屋制度は、庶民が自治的に運営することが当たり前の感覚を持っていたこともあり、就学率・識字率共に高く庶民の就学率は 70～85 パーセントで、手習いに行かない子供は男女ともにほとんどいませんでした。

特に、明治 5 年（1872 年）に「学制」公布されて以来、就学の機会が確立されたこともあり、現在、識字率はほぼ 100 パーセントを達成しています。

さて、世界の現状は 7 億 7600 万人の成人が読み書きをできないと言われていています。7,600 万人の子供達が学校に通えません。

ロータリアン一人一人が、この人々の将来にわたって大きな影響力を持っています。

クラブ単位で奉仕プロジェクトを実践することはとても重要ですが、更にロータリー財団の DDF（地区財団活動資金）の地区補助金や WF（国際財団活動資金）のグローバル補助金を活用した奉仕プロジェクトの拡大は、世界に幸せな人々を増やすことに繋がります。

「ROTARY SERVING HUMANITY」

「人類に奉仕するロータリー」

を実践しましょう。

ロータリーの友月間に寄せて

ロータリーの友地区代表委員（委員長） 板垣 忍

*ビックリしたなあ～、もう（古くてスママセン）

「へ～え、『ロータリーの友』ってこんなにも手を掛けて作ってるんだ。スッゴイねえ」というのが地区代表委員になって、東京で3回会議に出席した今の感想です。8月号の39ページをご覧ください。「ロータリーの友委員会」「一般社団法人ロータリーの友事務所」の構成員が掲載されています。R I 理事とエレクト、パストガバナー、ガバナーエレクト、ノミニーという、そうそうたるメンバー（昨年は我が本田PGも構成員でした）が毎月理事会を開いて、私たち全国34地区の委員から『友』を読んだ感想や要望のレポートを検討して、これからの誌面を練っているんだそうです。私たちとの合同会議でも、非常に熱心にメモを取られていて、その真摯な態度に、ただただ頭が下がりました。

*ロータリーの友は200円+消費税！ 高いんでしょうか 安いんでしょうか？

『友』を発行している『法人友事務所』の財政はここ数年の間、赤字運営になっているそうです。その解消のため、今年度からサイズを変更して経費の削減を図ったり、様々な試みがなされているようです。友の購読は義務となっています。例会出席もそうですよね。義務と聞くと何となく面白くないと思っているメンバーがいると思います。でも、あの人に会いたい、話がしたい、だから例会に行きたい、と思うと楽しみになります。その時点で義務ではなくて、私たちに与えられた素晴らしい権利だと発想が転換します。『友』も読んでみると「な～るほど、そりゃあ知らなかったな～。そんなことやってるクラブがあるんだね～」なんて、毎月の購読が楽しみになれば、もっと素敵なロータリーライフが送れるかも、なんてね。皆さんのクラブでは、全メンバーに配布されていますか？もう一度購読部数を見直していただいて、さらに、役場や金融機関の窓口等にも置いていただけたところにはお願いをしてみてください。（もっとも部数を伸ばすより、広告スポンサーを見つける方が手っ取り早いか。よ～し、合言葉は、スポンサーを探せ！！つつうことだな）

*ど～して横書きと縦書きと別れているの？

まず横書きは、R I 指定記事、特別月間の特集など、ロータリー情報や公式的な記事を中心に掲載されています。そして縦書きは、日本のロータリーが2つに分割された時（現在は3ゾーン34地区）に、別れた相手の地区の情報も知りたい、ということで『友』が創刊されたという経緯から、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となるような記事を中心に構成されています。私たちが寄稿するのはこの縦書きのページということになります。皆さんもう一度『友』を読んでいただいて「な～んだ、こんな情報やあんな情報が掲載されんのなら、ウチのクラブの特徴や楽しい活動も載せてもらおう！」ってな調子で気軽にガバナー事務所までご連絡ください。せっかくのロータリーライフ、もう少し頑張ってみよう！ってな調子で気軽にガバナー事務所までご連絡ください。最後に、1593年1月に創刊された『ロータリーの友』の名前はどこからとったかご存知でしょうか？『主婦の友』ホントの様です。

2016-2017年度「インターアクト年次大会」報告

大会テーマ「紡ぐ力～人々の思いやり～」

インターアクト委員会委員長 桑原志郎

- 日時 2016年7月30日(土) 10:10～15:40
- 会場 桐生市市民文化会館
- 主催 桐生第一高等学校インターアクト部(提唱 桐生ロータリークラブ)
- 出席者 インターアクター120名(16校) 顧問教師23名(16校) ロータリアン47名(16クラブ)
地区役員・委員・RA11名 来賓3名 桐生ロータリークラブ20名 合計230名

●大会の目的

第2840地区の全インターアクターが一同に集まり、大会テーマに則した基調講演を聴き、分科会を通して普段学校の授業では聴くことができない話や体験を通して学ぶ機会とする。

- 基調講演 「研究者への道と教訓」 群馬大学大学院理工学府 教授 板橋英之氏

- 分科会 桐生らしい体験型分科会を行った。

第1分科会 「エコを知ろう乗ろう！桐生の技～MAYU試乗～」講師：清水 広康様

第2分科会 「感じよう！桐生の伝統～織と染め体験～」講師：長谷川博紀様

第3分科会 「作ろう！桐生の味～うどん打ち体験～」講師：清水 利信様

第4分科会 「たたこう！桐生の太鼓～心と体で音色体験～」講師：川連 幸子様

- 閉会式時に次年度のホスト校である新田暁高等学校にインターアクト旗が授与された。



開会式



豊川ガバナー式辞



MAYU試乗



織と染め体験



うどん打ち体験



太鼓体験



IA旗授与式



青少年交換長期派遣学生壮行会

地区副幹事 横尾 眞喜

場所：前橋問屋町センター 龍の間 日時：2016年7月31日（日） 12:30～15:30

原 敬 青少年交換副委員長による開会の挨拶に始まり、豊川 一男ガバナーによるご挨拶、関根 俊夫青少年交換委員長のご挨拶、須永 聡介青少年交換副委員長による参加者紹介があり、食事を囲みオリエンテーションに移り、楽しい時間を過ごしました。

オリエンテーションでは、長期派遣学生5名が、希望に満ちた挨拶を、英語と日本語でスピーチしました。また、豊川 一男ガバナーより派遣学生へ地区バッジ・ネームプレート・名刺が授与されました。そして、横山 正男直前委員長、及び、布施川 祥子 ROTEX 代表より、学生へ激励の言葉を頂き、田中 久夫ガバナーエレクトより長期派遣プログラム参加者への激励の言葉を頂きました。星野 正義 第4分区 A ガバナー補佐の閉会の言葉で、終わりました。

豊川 一男ガバナーの挨拶では、1) 長期派遣学生のそれぞれの派遣先 (USA の地区) の歴史&エピソードを引用して、一人一人を励まされた。2) ロータリーの派遣学生として、責任を持って行動してください。とコメントした。3) 日本の親善大使として頑張ってください。4) 2840 地区みんなでサポートしているので安心して、行って来てください。5) 元気に行動し、元気に帰って来てください。6) ホストクラブの皆様のお礼。上記の激励の言葉を頂きました。

関根 俊夫青少年交換委員長より、1) 壮行会が出来る事のご協力の御礼。2) 派遣学生の報告。3) 派遣学生への激励。等 日本のバックアップは万全にしてある、行動に責任を持って行って来てください。いってらっしゃい。と挨拶を頂きました。

横山 正男直前会長より、1) 受け身ではなく積極的に行動、チャレンジして。2) リスク管理を十分に。3) 両親はじめ多くのプログラムに関与くださっている人々に感謝してください。4) 健康管理も忘れずに。等 エントリーは、人生のターニングポイントの一つである、サポート+自分自身で行動してください。と、贈る言葉を頂きました。

布施川 祥子 ROTEX 代表より、派遣先で、多くの事を体験してきてください。ROTEXも応援している。サポートの人々に感謝して行動してください。一年間、頑張ってください。と激励の言葉を頂きました。

田中 久夫ガバナーエレクトより、2840 地区と言うよりも、日本の代表と言うつもりで、健康に留意して自分の身は、自分で守る。家族との定期連絡をする。等 自身の体験談を交えて、激励の言葉を頂きました。



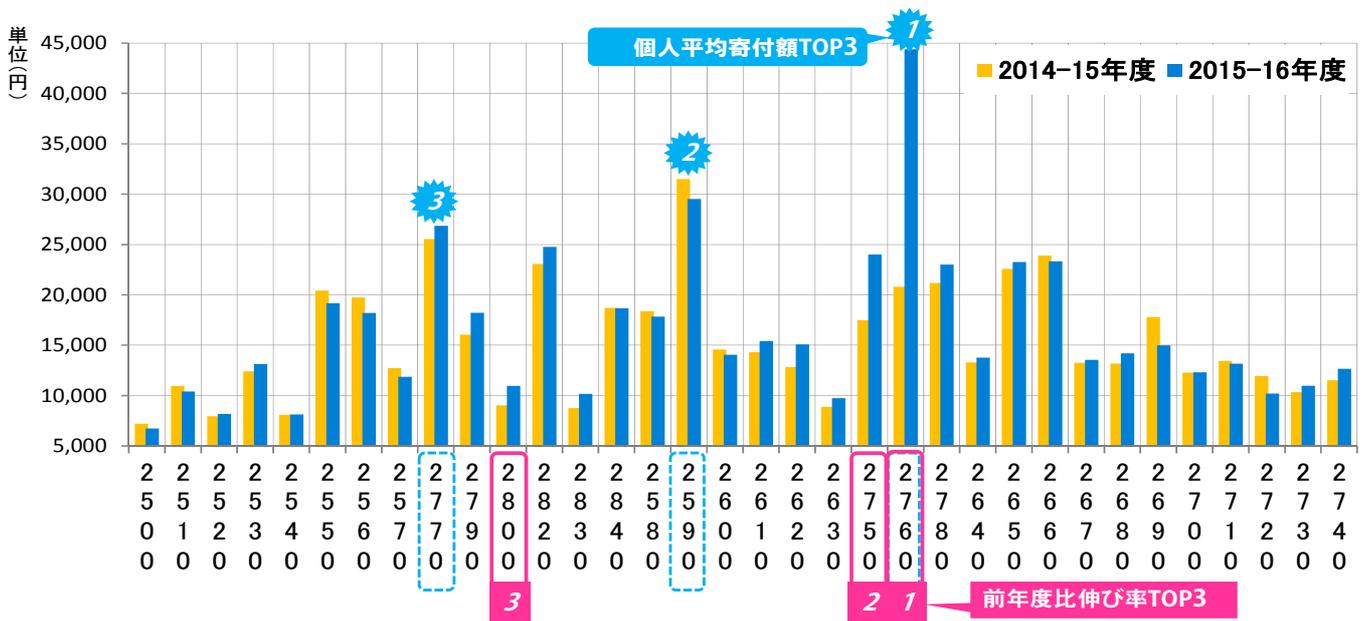


ハイライトよねやま 196

2016年7月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2015-16年度寄付金は15億円超 —

2015-16年度の寄付額は約15億7,700万円でした。前年度と比べて11.5%増（普通寄付金0.6%増、特別寄付金16.1%増）、約1億6,300万円の増加となりました。2003年度以来、寄付総額が12年振りに15億円を超え、また個人平均寄付額は統計を取り始めた1982年度以降過去最高額の17,779円となりました。会員皆様のご支援に深く感謝申し上げます。引き続き、新年度もご協力賜りますようお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP 3

① 第2760地区：44,399円 ② 第2590地区：29,519円 ③ 第2770地区：26,870円

個人平均寄付額の前年度比伸び率 TOP 3

① 第2760地区：213.3% ② 第2750地区：137.2% ③ 第2800地区：121.4%

海外7つ目！スリランカに米山学友会が誕生

海外7つ目となる、スリランカ米山学友会の創立総会が6月25日、コロンボ市内のホテルで開催されました。学友約30人のほか、創立に尽力した第2530地区（福島県）や第2700地区（福岡県・佐賀県・長崎県）のロータリアンも多数日本から駆けつけました。菅沼健一在スリランカ日本大使や現地のガバナー夫妻、当会の小沢一彦理事長も出席し、総勢100人を超える盛会に。ラビン・ドラン国際ロータリー会長（当時）からは温かな祝辞が寄せられました。

創立会長のラクナース・ガマゲさん（1993-95／宇部西RC）は「会員は皆、米山の精神をもって国の発展や日本との友情に尽力しているが、一緒になることでより強く活動を広げていける」とあいさつ。日本の地区と協同で行う奉仕活動も計画されており、スリランカ米山学友会の今後の活躍が期待されます。



第 2750 地区に米山学友会が創立！

6月11日、国内の学友会としては33番目となる第2750地区（東京）米山学友会の設立総会が都内で開催され、学友・奨学生24人のほか、ロータリアンら計44人が出席しました。

初代会長には金英奎さん（中国／2011-12／横浜都筑RC）、副会長にはラジュ・バジュラチャル



ヤさん（ネパール／2008-09／八日市南RC）とチンダー・ローカムサイさん（ラオス／2012-13／小倉西RC）、ほか、幹事・会計・理事・監事が選任され、金会長は、「2750地区米山学友会に来れば、学友も奨学生もロータリアンも心が温かくなり、より前向きな気持ちになるものを持ち帰れる場にしていきたい」と、抱負を語りました。

熊本地震に学友からの支援が続々（2）

熊本大地震から3ヶ月が経ちました。学友たちの支援活動の続報をお届けします。

都内在住のヤップチーエンさん（マレーシア／2011-13／有田南RC）は、5月12～17日、単身で熊本へ行き、テント泊をしながら、散乱した家の片付けや炊き出しなどのボランティア活動を行いました。また、SNSを利用して募金を呼び掛け、食物繊維不足に悩む約100人の高齢者の方々に干し果物やゼリーを現地調達し避難所へ届けました。最終日には熊本東RCの例会に参加して、被災地での活動報告をしました。

関西米山学友会では、ソウル国際大会期間中に開催した5月28日の「学友合同懇親会」会場で、参加者に熊本地震への募金を呼び掛けました。寄付者にはかわいいオリジナルバッジが渡され、多くの参加者が募金に協力しました。また、7月3日の学友会総会でも再び募金を呼び掛け、集まった義援金合計約21万円を今後、熊本に届ける予定です。

7月3日には、岡山に住むアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（ネパール／2001-02／鈴鹿西RC）が、認定NPO法人AMD Aの一員として益城町を訪れ、広安小学校の体育館に避難している方々や七夕祭りに参加した約300人に丸いネパール餃子をふるまいました。



モンゴル米山学友会総会が開催されました



2014年に設立されたモンゴル学友会の3回目の総会が6月11日、ウランバートル市内で開催され、約30人の学友のほか、第3450地区ガバナーエレクトやモンゴル帰国留学生会事務局長などゲストが参加しました。

総会では活動報告のほか、次年度の事業計画、新年度からの役員が紹介されました。同学友会では、その一年間に最も活躍した学友へ「最優秀会員賞」を贈っています。今年、モンゴル赤十字社に勤めるデルゲルマー・アルザフグイさんと、4月から再来日し国際医療福祉大学博士課程で学ぶアリョーナ・ツェーソドロルツォーさんが受賞。また、総会後の懇親会ではサプライズダンスのほか、来年アトランタで開催されるロータリー国際大会への参加チケットの抽選があり、2人の学友が当選して羨望を集めました。

ロータリークラブ会長 各位

2019 - 2020 年度 地区ガバナー候補者推薦についてのお願い

ガバナー

豊川 一男

ガバナー指名委員会委員長

安藤震太郎

R I 細則 13 条 1 節により、2019 - 2020 年度の地区ガバナー候補者を本年度末（2017 年 6 月末）までに指名・推薦する必要があります。

つきましては、R I 細則 13 条 2 節 4 項（クラブからガバナーノミネーを推薦）に基づき、2019 - 2020 年度国際ロータリー第 2840 地区ガバナー候補者をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

記

地区ガバナー候補者の資格要件として、下記の各項が要求されます。詳しくは 2013 年手続要覧（23・24・177 ページ）をご参照ください。

- (1) 地区内のクラブの瑕疵なき会員であること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) クラブ会長を全期務めたことのある者
- (4) ガバナーの任務と責任を果たす意思と能力のある者
- (5) ガバナー就任時点で通算 7 年以上クラブ会員であること

ガバナー候補者推薦状は、R I 細則 13 条 2 節 4 項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2016 年 12 月 31 日までに、豊川ガバナー事務所にご提出ください。

送付先

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1 階
豊川ガバナー事務所

新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 山崎 義哉
クラブ 沼田中央
入会日 2016年6月23日
職業分類 造林業
勤務先 花咲造林(有)
役職 代表取締役
推薦者 小田原 茂



氏名 仙田 款一
クラブ 渋川
入会日 2016年6月30日
職業分類 寝具販売
勤務先 (有) 仙田屋
役職 代表取締役社長
推薦者 加藤 義男



氏名 内山 誠一
クラブ 前橋西
入会日 2016年7月2日
職業分類 冠婚葬祭業
勤務先 株) ライフシステム
日典ラサ前橋
役職 日典ラサ前橋店長
推薦者 田村 誠夫



氏名 西郷 悟
クラブ 渋川
入会日 2016年7月7日
職業分類 税理士
勤務先 税理士法人群馬中央会計
役職 代表社員
推薦者 狩野 要一



氏名 栗原 智久
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2016年7月7日
職業分類 運送業
勤務先 (株) 協同物流
役職 専務取締役
推薦者 新井 洋介



氏名 佐々木 晃
クラブ 太田中央
入会日 2016年7月8日
職業分類 足場屋
勤務先 (有) エイコウ
役職 取締役部長
推薦者 蛭田 義徳



氏名 新野 幸子
クラブ 太田中央
入会日 2016年7月8日
職業分類 プレス板金加工
勤務先 株) シンノエパック
役職 代表取締役社長
推薦者 大谷 祐三



氏名 廣田 毅文
クラブ 前橋西
入会日 2016年7月15日
職業分類 ネイルサービス業
勤務先 (有) 富士メディアサービス
役職 代表取締役
推薦者 平田 育夫



氏名 樋口 正弘
クラブ 前橋
入会日 2016年7月19日
職業分類 電信電話
勤務先 東日本電信電話(株)
群馬支店
役職 県央 北毛営業支店長
推薦者 本田 博己



氏名 並木 浩一
クラブ 桐生南
入会日 2016年7月20日
職業分類 公証人
勤務先 桐生公証役場
役職 公証人
推薦者 高村利久・中村梅生



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 佐藤 律夫
クラブ 前橋西
入会日 2016年7月22日
職業分類 教育
勤務先 学) 藤仁館学園専門学校
高崎福祉医療カレッジ
役職 理事長
推薦者 北澤 俊春



氏名 高野 佳数
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2016年7月28日
職業分類 電気通信機器販売
勤務先 関東モバイル
ネットワーク(株)
役職 代表取締役
推薦者 久保 勲



氏名 廣村 孝之
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2016年7月28日
職業分類 商業銀行
勤務先 東和銀行伊勢崎支店
役職 支店長
推薦者 北爪 功



氏名 渡邊 秀信
クラブ 太田
入会日 2016年7月28日
職業分類 結婚式場
勤務先 (株)メモリード
役職 執行役員渉外部部長
推薦者 石川 重政



氏名	真下 勇	1988年7月1日	入会
クラブ	沼田中央	2012年～2013年	クラブ副会長
入会日	1988年7月1日	2013年～2014年	クラブ会長エレクト
退会日	2016年8月3日	2014年～2015年	クラブ会長
享年	69歳		
勤務先	(有)花政園芸センター		ポールハリスフェロー マルチプル 1回
役職	代表取締役		第5回米山功労者(マルチプル)

故真下勇氏を偲んで

真下勇会員は当クラブ創立2年後に入られ沼田中央ロータリークラブの活動の基盤をつくられた方です。2014年—2015年には会長を歴任されました。翌年は生方彰ガバナー輩出、クラブの30周年を控えクラブ内をまとめるのに大変な時期の会長であったと思いますが、持ち前の性格と行動力で難なくやり遂げました。ゴルフも酒宴も誘われるとほとんど断ることなく出席頂きました。誰にも好かれ話しやすい方でした。例会も7月21日まで何の様子も変わらず元気にいらしていたのにその後体調を崩され8月3日ご逝去されました。69歳の若さでした、個人的にもお付き合いをしていたので残念でたまりません。

沼田中央ロータリークラブ 2016-2017年度 会長 永井 寛之



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- ◎「一服の叡智」 ビチャイ・ラタクル 2015 12p (D.2520 地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーの心」 千玄室 2016 2p (D.2650 地区大会記念誌)
- ◎「もう一度ロータリーを…」 小船井修一 2015 8p
(D.2520 地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを楽しもう」 河本英典 2016 2p
(D.2650 地区大会記念誌)
- ◎「日本の文化・伝統と教育が、拓く未来！」 櫻井よしこ 2016 11p
(D.2730 地区大会記録誌)
- ◎「繋がる夢」 シルネン・ブヤンジャルガル 2016 3p
(D.2790 地区大会記念誌)
- ◎「スポーツの可能性」 為末 大 2016 8p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎「東洋スロトレー老いない体の作り方」 田中貴恵 2016 4p
(D.2780 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

2016年7月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,016	2,058	2,083	25	126	82.60

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	78.51	118	118	116	-2	10
	前橋西	4	94.15	56	56	59	3	5
	前橋東	4	82.06	60	60	60	0	5
	前橋北	3	86.25	69	69	70	1	4
	前橋南	4	95.46	32	32	33	1	1
	前橋中央	4	87.63	28	28	27	-1	7
	合計		87.34	363	363	365	2	32
	第2分区A	桐生	3	88.10	67	67	67	0
桐生南		4	77.50	25	25	26	1	1
桐生西		5	92.51	61	61	61	0	4
桐生中央		4	70.45	22	22	22	0	3
桐生赤城		4	90.30	44	44	45	1	8
合計			83.77	219	219	221	2	22
第2分区B	伊勢崎	4	95.83	79	79	79	0	4
	群馬境	4	93.33	21	21	23	2	1
	伊勢崎中央	4	87.02	80	80	82	2	2
	伊勢崎南	4	83.04	28	28	28	0	1
	伊勢崎東	3	83.34	31	31	32	1	2
	合計		88.51	239	239	244	5	10
第3分区	高崎	3	87.68	117	117	117	0	8
	高崎南	4	70.14	65	65	67	2	7
	高崎北	4	78.08	68	68	68	0	0
	高崎東	4	82.05	38	38	38	0	1
	高崎シンフォニー	4	80.95	42	42	42	0	4
	高崎セントラル	4	75.52	37	37	37	0	0
	合計		79.07	367	367	369	2	20

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	90.41	71	71	73	2	3
	太田西	4	89.62	17	17	17	0	2
	太田南	4	84.88	43	43	44	1	1
	新田	3	94.27	17	17	18	1	0
	太田中央	4	85.72	54	54	56	2	3
	合計		88.98	202	202	208	6	9
第4分区B	館林	5	81.60	50	50	50	0	2
	大泉	4	73.23	33	33	33	0	3
	館林西	4	76.13	22	22	22	0	1
	館林東	4	71.87	24	24	24	0	3
	館林ミレニアム	4	94.86	26	26	27	1	0
合計		79.54	155	155	156	1	9	
第5分区	渋川	4	96.40	58	58	59	1	5
	沼田	4	70.00	67	67	71	4	1
	草津	3	50.87	19	19	19	0	1
	中之条	4	77.57	21	21	21	0	1
	沼田中央	4	76.88	59	59	59	0	4
	渋川みどり	4	81.29	38	38	39	1	2
	合計		75.50	262	262	268	6	14
第6分区	富岡	4	95.12	46	46	46	0	4
	藤岡	4	82.22	52	52	52	0	3
	安中	4	61.93	44	44	44	0	0
	藤岡北	4	87.43	16	16	17	1	1
	富岡中央	4	94.41	39	39	39	0	1
	碓氷安中	4	70.00	10	10	10	0	0
	藤岡南	4	73.22	17	17	17	0	1
	富岡かぶら	4	79.80	27	27	27	0	0
	合計		80.52	251	251	252	1	10

ガバナー月信に関して

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 toyokawa@rid2840.jp まで送信してください。写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくをお願いいたします。

表紙写真解説 群馬県指定重要文化財「旧上毛モスリン事務所」

指定年月日 昭和53年10月13日
所在地 館林市城町2番3号 館林市第二資料館内
員数 1棟及び1枚
時代 明治時代

木造2階建入母屋造、1階255㎡、2階208㎡のこの建物は、上毛モスリン株式会社の事務所として、明治41年(1908)から43年(1910)にかけて、館林城二の丸跡に建てられたものです。

外観はシンメトリー(左右対称)を基調とし、窓は上下開閉式、屋根の張り出しは浅く、基礎は近県産の花崗岩と大谷石を組合せ、柱、階段の手すり、天井などの洋風の意匠が取り入れられている一方、和風建築の基本である尺貫法や小屋組構造を用いた建物であり、明治期の洋風指向の特徴を良くあらわしています。

上毛モスリン株式会社は、館林周辺の伝統技術である機業を活かして近代的製織会社として設立されました。産業振興とともに、鉄道の敷設に伴って道路の新設(モスリン新道)を行うなど町の近代化を支え、その後、共立モスリン、中島飛行機、神戸生絲として返遷しますが、いずれも館林の基幹産業として地域の発展に寄与してきました。

擬洋風建造物として群馬県下でも有数のもので、この地域の近代史を知るうえで、欠かせない重要な文化財です。



国際ロータリー第2840地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp